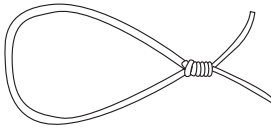
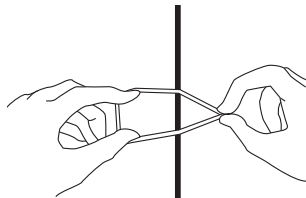




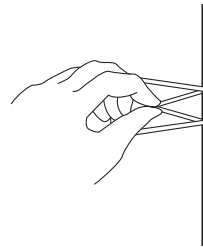
◆使用上のご注意 / 仕掛図の説明の中で、巻き回数が記載されておりますが、個々の締め方の強さにより、締め具合が異なります。



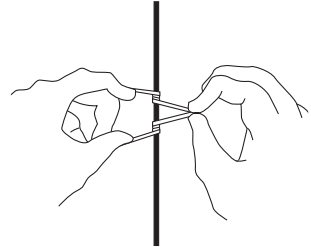
①パールジックライン(PE)を折り曲げて20cmの所にたわら結びでコブをし輪を作る。(8の字結びの3回ひねり)



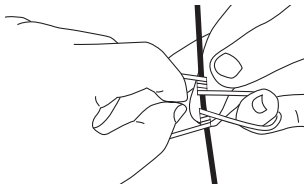
②輪をP-LINE(ハナカンハリス)の上に乗せる。



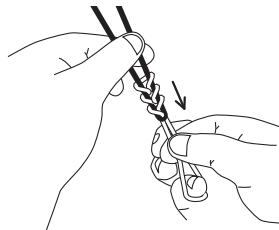
③片手で持ち、右手で上から持ちかえてひと巻く。



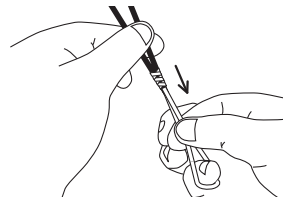
④③の動作を7回繰り返す(常に張った状態で)。



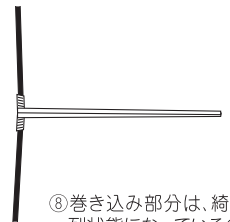
⑤右小指を輪の中に入れ 親指と人差し指で巻き込んでいる箇所をつまむ。手前のP-LINE(ハナカンハリス)を仕掛台から外し反対側と合わせてつまむ。



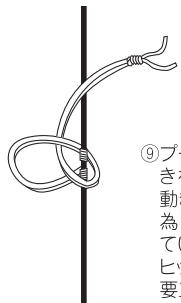
⑥つまんだ箇所を中心にゆっくりと引っ張る。



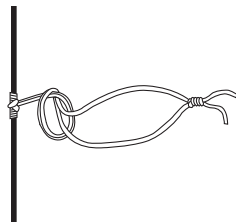
⑦巻き込んだ箇所が小さくまとまった状態になったら、外したハナカンハリスを元の仕掛台に固定するだけで巻き込みが完了。(つまんでいる箇所を離す)



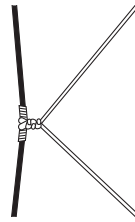
⑧巻き込み部分は、綺麗に整列状態になっているので、後は動きを確認し引っ張って動く場合は、軽く締める。(強く締めると、動かなくなります)



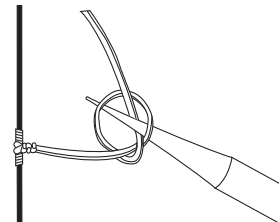
⑨パールジックの動きを確認し、その動きを一定にする為に、ラインが出ている所にハーフヒッチをする。(重要工程)



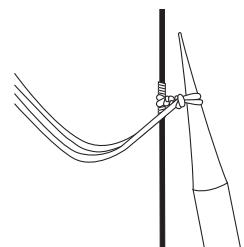
⑩ハナカンにゆとりをもたせる為、根元にコブをつくる。(通常3個程度、パワーのある鮎の場合は4個)



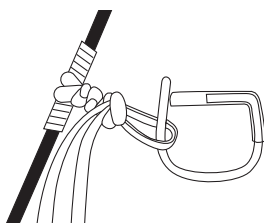
⑪大アユ釣りの場合は4回以上コブをつくる。PEは、1回のコブだと滑って動く為それを利用する。



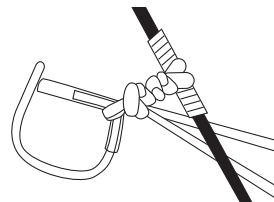
⑫ハナカンを結ぶ為の輪をつくる。(首ククリ結び)



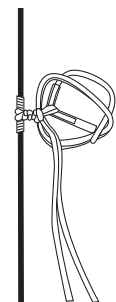
⑬輪の結び目を、コブの根元まで持っていく。



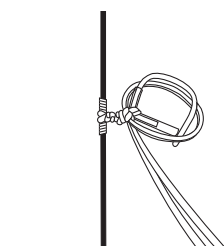
⑭できた輪でウレタンチューブの角を締めるようにハナカンをもっていく。



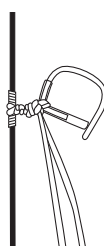
⑮糸がウレタンチューブの中に食い込むくらいきつく締める。(瞬間接着剤ナシでもウレタンゴムの弾力で解けない)



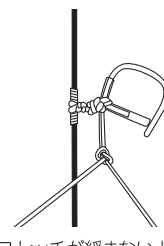
⑯⑮で締めた上をハーフ・ヒッチで締める。



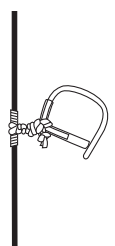
⑰逆のハーフ・ヒッチでもう一度締める。



⑱根元で結んだ図。



⑲ハーフ・ヒッチが緩まないようにコブをつくり根元まで移動させ、強く締めて不要のラインを切断する。



⑳完成図。(瞬間接着剤は不要です)